

12/2

地元特産品を活かした料理を紹介 第3回こまつしま・うまいもん祭り



地元食材を活かした料理を試食する親子

小松島市のおいしい農林水産物を販売、PRする「第3回こまつしま・うまいもん祭り」(小松島市主催)が12月2日、小松島みなと交流センター周辺で開催されました。

JA小松島や小松島・和田島漁協など地元でとれた新鮮な農林水産物や加工品を販売する店が軒を並べ買い物客らで賑わいました。

また、会場にきた徳島県の農

林水産物PRトラック「新鮮なっ! とくしま号」では、学校栄養職員らが、地元食材を活かしてチリメンや生椎茸を使ったピビンバや足赤エビを使ったエビのチリソースなどを料理、来場者などが試食したり、調理レシピなどを配布したりしました。

12/2

小規模校の特色を生かし ユニークな取り組み 檳瀾小で三世代交流学習会

子どもたちが親や祖父母、地域の方々と交流を図り、子どもたちの人間形成学習の充実と地域活性につなげることを目的に12月2日、檳瀾小学校で三世代交流学習発表会が開かれました。

この学習会に参加したのは同小学校の児童と幼稚園の園児、保護者や地域の住民を合わせた約120名。

はならないと呼びかけました。また、いつもお世話になっていくスクールガードの方へのお礼や、人権の歌などを合唱し地域で人権学習の大切さを一緒に学びました。

12/8

県道阿南小松島線 バイパスが開通

県道阿南小松島線バイパス(県道28号線)が12月8日開通し、その開通式典が檳瀾町で開かれました。

県や地元関係者ら約1000人が参加。竣工神事や開通式典の後、テープカットが行われ、檳瀾小学校児童らによる金管バンドの演奏ファンファーレを合図に住民らが家用車に乗り込み通り初めを行いました。

バイパスは、県道宮倉徳島線か

ら県道阿南勝浦線までの区間が、狭小で通行量も多いことから平成9年より事業着手されていたもので、檳瀾町左近田から立江町馬淵までを結ぶ全長約3.8キロメートル、全幅員14.5メートルで両側に自転車歩行道があります。総工費は約27億円。



通り初めを行う車輛

まず、幼稚園児と1・2年生が「にじいろのさかな」という劇で仲間の大切さを元氣いっぱい演じ、3・4年生は「たのきゆう」という劇で、後半部分は自作のオリジナルシナリオを加え、ユーモアを交えた演技を披露、偏見による差別のまちがいを訴えかけました。5・6年生は「ゆめから出たまこと」と題し、自分に都合のいい夢ばかり追い求めることの過ちに気づく登場人物の言動を介して、みんなが人権を大切にできるようにしたいという夢は決して夢物語にして



演劇で人権学習の大切さを訴えかける児童たち